

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	ダイオキシン削減対策総合推進費	担当部局庁	大臣官房廃棄物リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度～終了未定	担当課室	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 山本 昌宏			
会計区分	一般会計	施策名	4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法	関係する計画、通知等	我が国における事業活動に伴い排出されるダイオキシン類の量を削減するための計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ダイオキシン類の量を削減するための計画」においては、「国は、廃棄物焼却施設等の各発生源別及び排出媒体別のダイオキシン類の排出量の目録を毎年作成し、公表する」となっている。また、ダイオキシン類対策特別措置法第38条では、国は、ダイオキシン類による環境の汚染の防止又はその除去等のための施設の設置又は改善につき必要な技術的助言をすることとなり、一般廃棄物処理施設の維持管理に当たる技術者に対して、講習を実施するものである。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ダイオキシン類排出実態調査 ダイオキシン類対策措置法に基づき一般廃棄物処理施設の設置者が測定するダイオキシン類のデータ等を集計し、対策の進捗状況及び削減状況を把握、公表する。 一般廃棄物処理施設の技術管理者に対する講習会の開催 廃棄物処理施設からのダイオキシン類の削減に向けて適切な維持管理の徹底・方法、処理技術の開発状況などの講習会を実施する。 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	12	12	12	5	5
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	12	12	12	5	5
	執行額	11	9	10			
執行率(%)	92%	75%	83%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)
	一般廃棄物焼却炉からの排ガス中のダイオキシン類の排出量目標値:平成22年度において52g-TEQ/年		成果実績	g-TEQ	42	36	52
			達成度	%	100	100	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	講習会参加者数		活動実績(当初見込み)	人	1021	858	932 () ()
単位当たりコスト	5,633 (円/参加者数)		算出根拠	22年度契約額(5,250,000円)÷講習会参加者数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	5	5				
	計	5	5				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>引き続き契約に当たっては競争性を確保する。 23年度からは、大幅な予算減の中で効率的に実施できるよう事業内容の見直しを図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>これまでの知見を活かし、効率的な事業実施に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省
10百万円

自治体データの回収
データの集約・公表
講習会テキスト資料作成
講習会での講演

【一般競争入札】

A.(財)日本環境衛生セン
ター5百万円

一般廃棄物処理施設管理
技術者講習会開催業務

管理技術講習会の開催
講習会テキストの作成
アンケートの取りまとめ

【一般競争入札】

B.日本環境(株)
3百万円

ダイオキシン類排出状況等調査

回収データのチェック
不良データの確認・修正
データ集計、解析、分析
報告書作成

【一般競争入札】

C.帝人エコ・サイエンス(株)
1百万円

雨水排水等のダイオキシン類調査

雨水排水サンプリング
ダイオキシン類分析

【一般競争入札】

D.エムズ環境技研(株)
1百万円

ダイオキシン類排出実態調査

雨水排水ダイオキシンの検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)日本環境衛生センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物処理施設管理技術講習 会開催業務	5			
計		5	計		0
B.日本環境(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ダイオキシン類排出状況等調査	3			
計		3	計		0
C.帝人エコ・サイエンス(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	雨水排水等のダイオキシン類調査	1			
計		1	計		0
D.エムズ環境技研(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ダイオキシン類排出実態調査	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境衛生センター	一般廃棄物処理施設管理技術講習会実施業務	5	5	88%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本環境(株)	一般廃棄物処理に伴うダイオキシン類排出状況等調査業務	3	3	46%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	帝人エコ・サイエンス(株)	雨水排水等のダイオキシン類調査	1	3	17%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エムズ環境技研(株)	ダイオキシン類排出実態調査	1	6	13%